

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

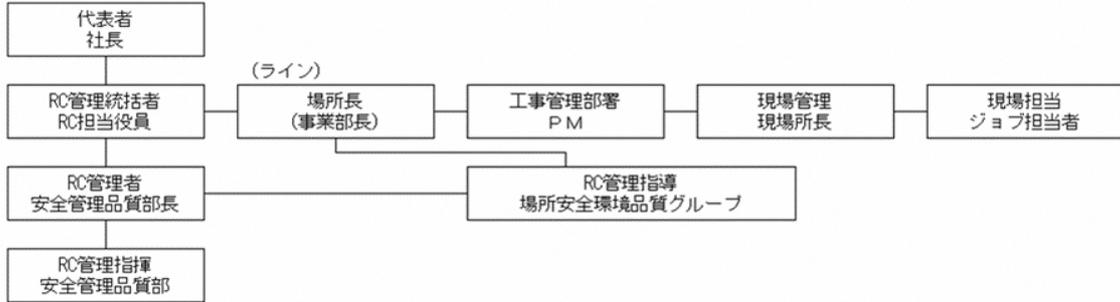
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		2022年6月30日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所：愛知県豊橋市牛川通四丁目1-2		
氏名：三菱ケミカルエンジニアリング（株）豊橋事業所 事業所長 真田英次		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号：0532-64-2230		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	三菱ケミカルエンジニアリング株式会社 豊橋事業所	
事業場の所在地	愛知県豊橋市牛川通4-1-2	
計画期間	2022（令和4）年4月1日 ～ 2023（令和5）年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	06. 総合工事業	
② 事業の規模	売上高：83,081百万円（2021年3月期）	
③ 従業員数	1,200名（2021年3月末）	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・がれき類 ⇒ 破碎 ⇒ 再生利用 ・金属くず ⇒ 選別 ⇒ 再生利用 ・コンクリートくず、アスファルト・コンクリート破片 ⇒ 破碎 ⇒ 再生利用 ・ガラス、コンクリート及び陶磁器くず ⇒ 破碎 ⇒ 再生利用（一部埋立て） ・廃プラスチック ⇒ 選別、破碎 ⇒ 焼却 ⇒ 再生利用（一部埋立て） ・木くず ⇒ 破碎、チップ化 ⇒ 再生利用（一部燃料） ・混合廃棄物 ⇒ 選別、破碎 ⇒ 埋立て（一部再利用） ・廃アルカリ ⇒ 中和、焼却 ・紙くず ⇒ 選別 ⇒ 再利用 ・廃油 ⇒ 燃料化 ・汚泥 ⇒ 固化 ⇒ 埋立て 	

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2021（令和3）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	排出量	2,787.5 t	682.68 t
	(これまでに実施した取組) ・環境マニュアルや管理規定に基づく建設廃棄物の発生の抑制に努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	排出量	5,000 t	500 t
	(今後実施する予定の取組) ・2022年度も引き続き大型の解体工事が予定されており、排出量の高止まりは避けられないが、再資源化率の高い処理業者を選定するなどして、極力建設廃棄物の発生の抑制に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建設資材の分別徹底。 ・混合建設廃棄物の分別中間処理によるリサイクル向上。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後、更なる分別管理強化により、リサイクル化を促進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2021（令和3）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021（令和3）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2021（令和3）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2021（令和3）年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	全処理委託量	2,787.5 t	682.68 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	17.02 t	10.36 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・委託契約の実行 ・マニフェスト等による確実な処理確認。 ・現地確認調査。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片
	全処理委託量	5,000 t	500 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	35 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・適正処理業者の選定と契約処理実施。 ・産廃最終処分量低減検討。		
※事務処理欄			

令和3年度の産業廃棄物発生量及び令和4年度の目標

(単位：t/年)

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	建設汚泥	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスく ず・コンク リート屑・	廃石膏ボ ード	がれき類	がれき類	がれき類	安定型混廃	管理型混廃	ガ・コ・陶 (石綿含 有)	がれき類 (石綿含 有)	廃石綿	合計
	残土を除く										コンガラ	アスコンガ ラ							
3 年 度 の 実 績	令和3年度の産業廃棄物発生量	6.600	0.452	36.425	4.050	219.570	6.480	6.290	12.500	0.340	105.000	2787.500	682.680	71.540	4.460	17.000	54.760	36.840	4052.49
	①自ら再生利用した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	③自ら中間処理により減量した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	⑤全処理委託量	6.600	0.452	36.425	4.050	219.570	6.480	6.290	12.500	0.340	105.000	2787.500	682.680	71.540	4.460	17.000	54.760	36.840	4052.487
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.452	1.400	0.000	38.620	0.000	0.000	0.000	0.340	0.000	0.000	0.000	71.540	4.460	0.000	0.000	0.000	116.81
	⑦再利用業者への処理委託量	6.600	0.452	36.425	4.050	219.570	6.480	6.290	12.500	0.340	0.000	2787.500	682.680	71.540	0.000	0.000	0.000	0.000	3834.43
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	105.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	105.00
4 年 度 の 目 標	令和4年度の産業廃棄物発生量	3.000	0.000	20.000	2.000	100.000	3.000	3.000	5.000	0.200	50.000	5000.000	500.000	40.000	2.000	10.000	20.000	20.000	5778.20
	①自ら再生利用した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	②自ら熱回収を行った量(t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	③自ら中間処理により減量した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	④自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
	⑤全処理委託量	3.000	0.000	20.000	2.000	100.000	3.000	3.000	5.000	0.200	50.000	5000.000	500.000	40.000	2.000	10.000	20.000	20.000	5778.20
	⑥優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	1.000	0.000	18.000	0.000	0.000	0.000	0.200	0.000	0.000	0.000	40.000	2.000	0.000	0.000	0.000	61.20
	⑦再利用業者への処理委託量	3.000	0.000	20.000	2.000	100.000	3.000	3.000	5.000	0.200	0.000	35.000	10.000	40.000	0.000	0.000	0.000	0.000	221.20
	⑧認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.300	0.000	0.000	0.000	0.000	0.30
	⑨認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	50.000	0.000	0.000	0.300	0.000	0.000	0.000	0.000	50.30

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。